

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

製品名 :けい素 標準液 1000mg/L
会社名 :純正化学株式会社
住所 :埼玉県越谷市大間野町1-6
担当部署 :品質保証部
電話 :048-986-6161
FAX :048-989-2787
E-mail :shiyaku-t@junsei.co.jp
製品番号(SDS NO) :29090jis_J-1

2. 危険有害性の要約

製品のGHS分類、ラベル要素

GHS分類

健康に対する有害性

眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性:区分 2A

(注)記載なきGHS分類区分:該当せず/分類対象外/区分外/分類できない



注意喚起語:警告

危険有害性情報

強い眼刺激

注意書き

安全対策

取扱い後は汚染箇所をよく洗うこと。

保護眼鏡/保護面を着用すること。

応急措置

眼に入った場合:水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

眼の刺激が続く場合:医師の診断/手当てを受けること。

3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別 :混合物質

成分名:メタけい酸ナトリウム

含有量(%):約0.44

化学式:Na₂O₃Si

化審法番号:1-508

CAS No.:6834-92-0

ECNO:229-912-9

成分名:炭酸ナトリウム

含有量(%):約2.1

化学式:CNa₂O₃

化審法番号:1-164

CAS No.:497-19-8

ECNO:207-838-8

成分名:水
含有量(%):上記成分の残量
化学式:H₂O
CAS No.:7732-18-5
ECNO:231-791-2

4. 応急措置

吸入した場合

空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
気分が悪いときは医師に連絡すること。

皮膚(又は髪)に付着した場合

直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を流水/シャワーで洗うこと。
皮膚刺激又は発しん(疹)が生じた場合:医師の診断/手当てを受けること。

眼に入った場合

水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
眼の刺激が続く場合:医師の診断/手当てを受けること。

飲み込んだ場合

口をすすぐこと。
気分が悪いときは医師に連絡すること。

5. 火災時の措置

適切な消火剤

周辺設備に適した消火剤を使用する。
この製品自体は燃焼しない。

特有の危険有害性

加熱すると容器が爆発するおそれがある。
火災によって刺激性、有毒及び/又は腐食性のガスを発生するおそれがある。

消火を行う者の保護

防火服/防災服/耐火服を着用すること。
耐熱手袋/保護眼鏡/保護面を着用すること。
消火作業従事者は全面型陽圧の自給式呼吸保護具を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

回収が終わるまで十分な換気を行う。
適切な保護具を着用する。

環境に対する注意事項

上水源、河川、湖沼、海洋、地下水に漏洩しないようにする。

回収、中和 ならびに 封じ込め及び浄化の方法/機材

不活性の物質(乾燥砂、土など)に吸収させて、容器に回収する。

二次災害の防止策

漏出物を回収すること。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

(火災・爆発の防止)

熱/火花/裸火/高温のもののような着火源から遠ざけること。—禁煙。

局所排気、全体換気

排気/換気設備を設ける。

注意事項

皮膚に触れないようにする。

眼に入らないようにする。

蒸気、ミスト、ガスを吸入しないこと。

安全取扱注意事項

保護手袋、保護衣又は保護面を着用すること。

保護眼鏡/保護面を着用すること。

指定された個人用保護具を使用すること。

取扱中は飲食、喫煙してはならない。

配合禁忌等、安全な保管条件**適切な保管条件**

容器を密閉しておくこと。

涼しいところに置き、日光から遮断すること。

換気の良い場所で保管すること。

8. ばく露防止及び保護措置**職業暴露限界値、生物学的限界値等の管理指標**

管理濃度データなし

設備対策

適切な換気のある場所で取扱う。

洗眼設備を設ける。

手洗い/洗顔設備を設ける。

保護具**呼吸用保護具**

空気呼吸器(SCBA)を着用する。

手の保護具

保護手袋を着用する。

眼の保護具

保護眼鏡/顔面保護具を着用する。

衛生対策

取扱い後は汚染箇所をよく洗うこと。

9. 物理的及び化学的性質**物理的状态**

形状 :液体

色 :無色

臭い :無臭

pH :アルカリ性

物理的状态が変化する特定の温度/温度範囲

初留点/沸点データなし

融点/凝固点データなし

分解温度データなし

引火点データなし

自然発火温度データなし

爆発特性データなし

蒸気圧データなし

蒸気密度データなし

比重/密度データなし

溶解度

水に対する溶解度 :混和する

n-オクタノール/水分配係数データなし

10. 安定性及び反応性

安定性

通常の保管条件/取扱い条件において安定である。

危険有害反応可能性

酸と反応して二酸化炭素を発生する。

避けるべき条件

混触危険物質との接触。

加熱

混触危険物質

強酸

危険有害な分解生成物

炭素酸化物、けい素化合物

11. 有害性情報

物理的、化学的及び毒性学的特性に関連した症状

急性毒性

経口毒性成分データ

[日本公表根拠データ]

(メタけい酸ナトリウム) rat LD50 =600 mg/kg (SIDS (access on 12 2008))

(炭酸ナトリウム) rat LD50=2800 mg/kg(SIDS(access on July 2008))

吸入毒性成分データ

[日本公表根拠データ]

(炭酸ナトリウム) mist : rat LC50=1.2 mg/L/4hr(SIDS (access on July 2008))

局所効果

皮膚腐食性・刺激性

皮膚腐食性/刺激性成分データ

[日本公表根拠データ]

(メタけい酸ナトリウム)

ウサギを用いた4時間適用による複数の刺激性試験結果(OECD guideline 404) : 壊死(necrosis)が認められ、腐食性(corrosive)である(SIDS (access on 12 2008))

EU分類 : C;R34

(炭酸ナトリウム)

ウサギに4あるいは24時間適用した試験結果: 紅斑及び浮腫ともスコアは0、刺激性なし(not irritating) (SIDS (access on July 2008))

ヒトのパッチテスト(4時間適用)結果 : 紅斑及び浮腫ともスコアは0、刺激性なし(not irritating)

(SIDS (access on July 2008))

眼に対する重篤な損傷・刺激性

眼損傷性/刺激性成分データ

[日本公表根拠データ]

(炭酸ナトリウム)

ウサギ : 非洗浄眼の場合、全例に角膜、虹彩、結膜(発赤、浮腫)に症状が発生し、14日の観察期間終了時も症状が残った。ドレイズの最大スコア平均(MMTS)=105(SIDS (access on July 2008))。

ウサギ : 非洗浄眼では、ばく露後1時間で角膜混濁を生じ重度の影響が7日まで持続し、ドレイズの平均評価が角膜で3.8、虹彩で2であり、一部の動物で角膜パンヌス及び円錐角膜を起こした(SIDS (access on July 2008))。

pH = 11.58 (5 wt% 溶液, 25°C)(HSDB (2003))

※安全面から、区分2Aとした。

感作性データなし

生殖細胞変異原性データなし

催奇形性データなし

発がん性データなし
生殖毒性データなし
短期ばく露による即時影響、長期ばく露による遅延/慢性影響
特定標的臓器毒性 成分データ
[単回ばく露区分3(気道刺激性)]
[日本公表根拠データ]
(炭酸ナトリウム) 気道刺激性 (SIDS (access on July 2008))
[単回ばく露区分3(麻酔作用)]
[日本公表根拠データ]
(炭酸ナトリウム) 麻酔作用 (SIDS(access on July 2008))
吸引性呼吸器有害性データなし
その他情報
この調合製品自体のデータは得られていない。

12. 環境影響情報

生態毒性
水生毒性
水生毒性(急性) 成分データ
[日本公表根拠データ]
(メタけい酸ナトリウム) 魚類(ゼブラフィッシュ) LC50=210mg/L/96hr (IUCLID, 2000)
(炭酸ナトリウム) 甲殻類(ミジンコ) EC50=250mg/L/48hr (SIDS, 2002)
水溶解度
(メタけい酸ナトリウム) >200 g/L (IUCLID, 2000)
(炭酸ナトリウム) 0.53 g/100 ml (PHYSPROP Database 2008)
残留性・分解性データなし
生体蓄積性データなし
その他情報
この調合製品自体のデータは得られていない。

13. 廃棄上の注意

廃棄方法
内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。
中身及び容器の廃棄は、都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物の処理業者に依頼する。

14. 輸送上の注意

国連番号、国連分類
国連番号に該当しない
海洋汚染防止法
有害液体物質(Z類): 炭酸ナトリウム
有害でない物質(OS類): 水

15. 適用法令

毒物及び劇物取締法に該当しない。
労働安全衛生法に該当しない。
化学物質管理促進(PRTR)法に該当しない。
消防法に該当しない。

16. その他の情報

参考文献

けい素 標準液 1000mg/L,純正化学株式会社,29090jis_J-1,2014/06/10

Globally Harmonized System of classification and labelling of chemicals, (5th ed., 2013), UN
Recommendations on the TRANSPORT OF DANGEROUS GOODS 18th edit., 2013 UN
Classification, labelling and packaging of substances and mixtures (table3-1 ECNO6182012)
2012 EMERGENCY RESPONSE GUIDEBOOK(US DOT)

2014 TLVs and BEIs. (ACGIH)

<http://monographs.iarc.fr/ENG/Classification/index.php>

JIS Z 7253 (2012年)

2013 許容濃度等の勧告 (日本産業衛生学会)

Supplier's data/information

化学物質総合情報提供システム (CHRIP) (NITE) <http://www.safe.nite.go.jp/japan/db.html>

事業者向けGHS分類ガイダンス(平成25年度改訂版,経済産業省)

責任の限定について

本記載内容は、現時点で入手できる資料、情報データに基づいて作成しており、新しい知見によって改訂される事があります。また、注意事項は通常の取扱いを対象としたものであって、特殊な取扱いの場合には十分な安全対策を実施の上でご利用ください。

ここに記載されたデータは最新の知識及び経験に基づいたものです。安全性データシートの目的は当該製品を安全に取り扱って頂くための情報を提供するものです。ここに記載されたデータは製品の性能について何ら保証するものではありません。

ここに記載したGHS分類区分の算定根拠は現時点における日本公表データです。